

Unit 11 Sustainable management of existing building stock

Tatsuya Matsuda, Japan

The University of Tokyo

今や、既存のストックをどう有効活用していくかという課題は、世界中で普遍的なものになりつつあるようだ。ヨーロッパにおいてはこれは比較的昔からある問題のようだが、日本のように今までスクラップビルドを繰り返してきた国も含め世界的な規模でこういった問題を真剣に考慮し始めたことは良い兆候である。その意味でも、豊富な経験を持つヨーロッパの研究者達と、日本の研究者達が同じ場所に集い、お互いの知識や見解を広め、交流し合うことは非常に重要で価値のあることだと思われた。

このセッションは具体的にどうやって既存ストックをマネジメントしていくのか、特に、社会が今後変容していく中でもきちんとストックを活用し続けていくにはどうしたらいいのか、ということに焦点を当てた発表が多かった。テーマは環境評価手法を用いた建築のマネジメントのあり方、住むという行為のあり方の新しい提案、持続的価値を盛り込んだ新しい不動産評価の仕方などなど非常に多岐に渡っていた。発表者は比較的ヨーロッパの方が多かったが、国によって法律的、文化的背景は違うはずなので発表を聞いてすぐに理解できるわけではないし、そのままの手法を自国の建築に対して用いることも出来ない。しかし、聴講者も皆真剣そのもので、質問も大いに飛び交い、時には白熱した議論もなされた。出席した者にとっては非常に有意義なセッションだったのではなかりうか。